

平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第6学年 国語 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点					問題類別	
								国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	知識	活用
①	1	(1)		伝統的な言語文化と国語の特質	6年 5年 4年 3年	②「テキセツ」を読むこと ※ア 「アンテイ」を読むこと ※イ 「モクテキ」を読むこと ※ウ 「メンセキ」を読むこと ※エ 「ケツマツ」を読むこと ③「ナンダイ」を読むこと ※ア 「ニンム」を読むこと ※イ 「ネンリョウ」を読むこと ※ウ 「ナンゴク」を読むこと ※エ 「オオガタ」を読むこと	②5年生配当の漢字「適」を「テキ」と正しく読むこと。 ※ 3年生配当の漢字「定」を、「安定」という熟語で「テイ」と正しく読むこと。 ※ 4年生配当の漢字「的」を、「目的」という熟語で「テキ」と正しく読むこと。 ※ 4年生配当の漢字「積」を、「面積」という熟語で「セキ」と正しく読むこと。 ※ 4年生配当の漢字「結」を、「結末」という熟語で「ケツ」と正しく読むこと。 ③6年生配当の漢字「難」を「ナン」と正しく読むこと。 ※ 5年生配当の漢字「任」を、「任務」という熟語で「ニン」と正しく読むこと。 ※ 5年生配当の漢字「燃」を、「燃料」という熟語で「ネン」と正しく読むこと。 ※ 2年生配当の漢字「南」を、「南国」という熟語で「ナン」と正しく読むこと。 ※ 4年生配当の漢字「型」を、「大型」という熟語で「ガタ」と正しく読むこと。						○	○
②		(2)		伝統的な言語文化と国語の特質	5年 4年 3年	①「復習」の「復」を書くこと ※ア 「複雑」の「復」を書くこと ※イ 「幸福」の「福」を書くこと ※ウ 「副会長」の「副」を書くこと ※エ 「往復」の「復」を書くこと ④「研究」の「研」を書くこと ※ア 「研修」の「研」を書くこと ※イ 「実験」の「験」を書くこと ※ウ 「検査」の「検」を書くこと ※エ 「保険」の「険」を書くこと	①「復習」の意味を捉え、5年生配当の漢字「復」を正しく書くこと。 ※「複雑」の意味を捉え、5年生配当の漢字「複」を正しく書くこと。 ※「幸福」の意味を捉え、3年生配当の漢字「福」を正しく書くこと。 ※「副会長」の意味を捉え、4年生配当の漢字「副」を正しく書くこと。 ※「往復」の意味を捉え、5年生配当の漢字「復」を正しく書くこと。 ④「研究」の意味を捉え、3年生配当の漢字「研」を正しく書くこと。 ※「研修」の意味を捉え、3年生配当の漢字「研」を正しく書くこと。 ※「実験」の意味を捉え、4年生配当の漢字「験」を正しく書くこと。 ※「検査」の意味を捉え、5年生配当の漢字「検」を正しく書くこと。 ※「保険」の意味を捉え、5年生配当の漢字「険」を正しく書くこと。						○	○
③		(3)		伝統的な言語文化と国語の特質	5年 6年	イ(ク) 日常よく使われる敬語の使い方に慣れること	日常会話の中で、敬語を適切に使うこと。						○	○
④		(4)		伝統的な言語文化と国語の特質	3年 4年	イ(カ) 辞書を利用して調べる方法を理解すること	「座った」を、国語辞典を引くときの言い切りの形「座る」「すわる」に直すこと。						○	○
⑤		(5)		伝統的な言語文化と国語の特質	3年 4年	ア(イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと	文意に合うことわざや慣用句を選ぶこと。						○	○
⑥		(6)		伝統的な言語文化と国語の特質	3年 4年	(1)イ(キ) 文の構成について初歩的な理解を持つこと	主語と述語を照応させること。						○	○
⑦	2	(1)		話すこと・聞くこと	5年 6年	エ 話し手の意図をとらえながら聞くこと	複数の発言の共通項を見いだしたり、不要な内容と必要な内容を聞き分けたりすること。		○					○
⑧		(2)		話すこと・聞くこと	5年 6年	ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること	発言の内容と、収集した情報を関連付けること。		○					○
⑨		(3)		話すこと・聞くこと	5年 6年	ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること	発言の内容と、収集した情報を関連付けること。		○					○
⑩				話すこと・聞くこと	5年 6年	(関心・意欲・態度)	話し合いの目的に沿って話の構成を考え、適切に質問しようとする。	○						○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。

平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第6学年 国語 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点					問題類別	
								国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	知識	活用
⑪	3	(1)		読むこと	5年 6年	ウ 目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、事実と感想、意見などとの関係を押さえること	筆者が、どのような事実を事例として挙げているのかを読み取ること。				○		○	
⑫		(2)		読むこと	5年 6年	カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと	複数の資料の内容を的確にとらえて、比較し、共通点や相違点を見いだすこと。				○		○	
⑬		(3)		読むこと	5年 6年	ウ 目的に応じて文章の内容を的確に押さえて、要旨をとらえること	文章を読んで、分かったことを自分の言葉でまとめること。				○			○
⑭				伝統的な言語文化と国語の特質	5年 6年	イ(ア) 話し言葉と書き言葉との違いに気づくこと イ(ク) 日常よく使われる敬語の使い方に慣れること	話し言葉や敬語に気をつけて、正しく書くこと。					○	○	
⑮				読むこと	5年 6年	(関心・意欲・態度)	文章の内容や、筆者の考えに関心をもって読み、自分の考えを伝えようとする。	○						○
⑯	4	(1)		書くこと	5年 6年	ア 目的や意図に応じて書く事柄を収集し、事柄を整理すること	資料をもとに、文章の構成や記述に役立つよう情報を整理すること。			○			○	
⑰		(2)		書くこと	5年 6年	ア 目的や意図に応じて書く事柄を収集し、事柄を整理すること	資料をもとに、文章の構成や記述に役立つよう情報を整理すること。			○			○	
⑱		(3)	①	書くこと	5年 6年	ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて書く事柄を収集し、事柄を整理すること	目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりすること。			○			○	
⑲			②	書くこと	5年 6年	ウ 事実と感想、意見などと区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること	目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。			○				○
⑳				書くこと	5年 6年	(関心・意欲・態度)	読み手に伝わるように、自分の考えを書こうとすること。	○						○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。